

# 情熱 地域

Wakamachi Miryoku Up

このコーナーでは、わがまち魅力アップ応援事業を活用し、まちづくりに取り組む皆さんを紹介しています。

## 金井自治会住民三世代が 連帯感を持ち助け合える ための事業



- プロフィール
- 団体名 金井若草文庫
- 設立 平成29年4月
- 活動人数 18名
- 紹介者 前列右から阿部裕子さん、堀内文代さん  
(代表)、山崎康示さん(自治会長)  
後列右から西沢真澄さん、青木俊子さん  
篠原一夫さん、深町稔さん
- 補助期間 平成29年度～令和3年度
- TEL 090・9974・3279(堀内)

### ●なぜ活動を始めようと思ったのですか？

昭和24(1949)年から10数年間、金井地区(神科)の公民館には、PTAが中心となって子どもたちのための本を整備した「金井若草文庫」がありました。現在とは違って娯楽の少なかった当時の私たちにとっては、公民館に集まって本を読むことが本当に楽しみで地区の交流の場になっていました。本を通じて地域住民が集まれる場所、子どもから高齢者までの3世代が交流を図れる場所を作りたいと思い活動をスタートしました。

### ●どのような活動をしていますか？

自治会館の一室に本棚を設置し、本の貸し出しを行っています。文庫の充実を図るために、主に子ども向けの本を購入したり、また地域の方からも本の寄贈を受け、現在では約3,000冊の蔵書となりました。毎週土曜日の午前9時から11時30分は「文庫の日」と題し、メンバーが交代で自治会館を開放して、地域の方が気軽に集まって本を読んだり交流できる場としています。他の曜日・時間帯でも自治会館が開いていれば、貸し出しノートに記入することで誰でも本を借りることができます。いつでも・だれでも・自由に本を借りることができるのが金井若草文庫です。

平日には川柳や朗読教室も開催していて、朗読教室の受講生から小学校の本の読み聞かせボランティアになった方もいます。



また、地域の事を学ぶために「石で見る上田地域の土地の成り立ち」をテーマに大人も子どもも参加できるお楽しみ講演会を企画しています。第1回から大変好評で、地区内外から多くの子どもたちが参加してくれます。今年も3回目の開催を予定しています。

### ●活動への想いをお話してください

我々の活動に対して、自治会長をはじめ、地域の皆さんが協力的であることが本当にありがたいです。自治会館に本棚を設置する時も自治会活動の一つとして理解いただき、自治会役員が運営の中に入って支えてくれています。また、メンバーは本が大好きなので、メンバーに図書館司書経験者などがいたこともあって、専門的に本の整理や修理もでき、文庫の充実を図ることができています。

### ●今後の展望を教えてください

活動を続けていくために、私たちよりも若い世代で活動の核になってくれる仲間を増やしていきたいです。

活字離れが叫ばれている現代ですが、子どもたちがワクワクしながら本に触れられる環境作りをしていきたいと思っています。活字の良さ、紙の本の魅力を伝えられるよう子どもたちを巻き込んで新たな企画を考えていきたいです。

市の人口(令和2年1月1日現在)  
人口:156,810人 男:76,817人 女:79,993人 世帯数:67,983世帯



編集・発行 上田市  
〒386-8601長野県上田市大手1-11-16  
TEL0268・22・4100 FAX0268・22・4131 ✉uedapr@city.ueda.nagano.jp

令和2(2020)年2月号(毎月16日発行)



アプリを通じて、市のお知らせをスマートフォンやタブレットからご覧いただけます。



この印刷物はグリーン購入法の基準を満たす紙と植物油インキを使用しています。